

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《自分の夢について考える》
- 2 単元名 『出部魅力発見プロジェクト』（全20時間=想定される実施時期：9月～2月）
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

出部地区の史跡に触れ、その歴史を調べたり、史跡の謎について考えることを通して、出部地区のことを深く理解し、自分たちの地域に対して愛着を持つことができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・ふるさと探訪「出部の史跡」をもとに、出部地区の史跡を探し、史跡の意味について考えることで、課題意識を持つ。	・史跡に詳しい方の講話を聞く。 ・フィールドワークを行う。 ・地域の人にインタビューをする。	・調べたり、インタビューしたりして分かったことを、整理する。 ・友達と体験を共有して、史跡の意味について分析する。	・調べたり、分析したりしたことを、パンフレットにまとめ、地域の方に発表したり、パンフレットを配布したりする。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	出部地区のよさや歴史について考えることで、出部の魅力についての課題意識をもつことができる。	フィールドワークをすることで、普段気が付かなかった出部の史跡について関心をもつ。	出部の史跡について情報を整理することで、出部地区の成り立ちに興味を持つことができる。	
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>	出部地区の史跡について調べたことをパンフレットにまとめ、地域に発信することを伝えることで活動の見通しをもつことができるようにする。		出部の歴史についての学びを深めることで、情報発信する意欲を高める。	
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		フィールドワークの際、地域の方にインタビューをすることで、地域の方とふれあいができるようにする。	調べたり、インタビューしたりしたことを共有することで、多面的に考えることができるようになる。	パンフレットにまとめ、発信することで、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
仕掛け・工夫	もの	書籍「出部の史跡」 書籍「ふるさと出部」	書籍「出部の史跡」 書籍「ふるさと出部」 地域の史跡	書籍「出部の史跡」 書籍「ふるさと出部」 地域の史跡	
	ひと	家族 地域の方	地域の方 吉澤先生		公民館 感謝の会に参加のボランティア 出部地区の保護者
	しごと（こと）	出部地区町おこし協議会			
アウトプットの工夫		公民館に出向いての発表や、感謝の会などで、地域ボランティアの方に発表を聞いてもらう。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

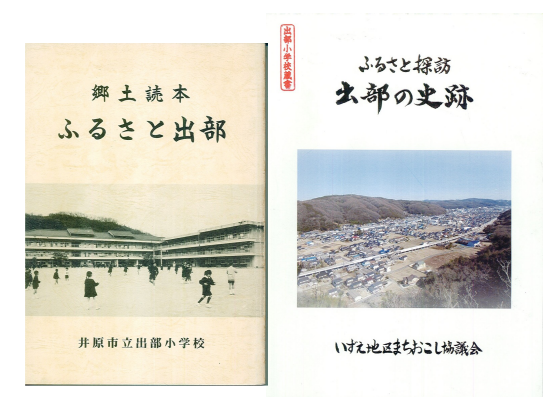
修学旅行、社会科

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

公民館に出向いての発表や、感謝の会などで、地域ボランティアの方に発表を聞いてもらうことも考えられる。

◆単元のねらい「出部地区の史跡に触れ、その歴史を調べたり、史跡の謎について考えることを通して、出部地区のことを深く理解し、自分たちの地域に対して愛着を持つことができるようにする。」

課題設定

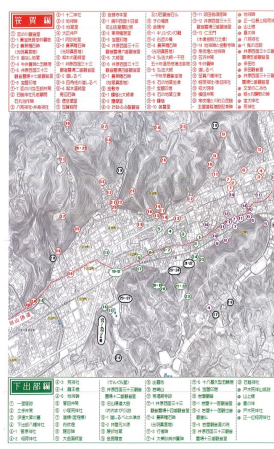


・書籍「ふるさとと出部」
・書籍「出部の史跡」
地域の方が発行していることを伝え、思いや願いについて考える。

「出部の史跡」をもとに、出部地区のことでもっと知りたいことを話し合う。

「出部の史跡」に載っている史跡の意味について、話し合いを通して自分なりの考えを持つ。

情報収集



「出部の史跡」の地図をもとにフィールドワークのコースを選ぶ。



地域の方に案内してもらい、グループに分かれて史跡巡りを行う。



整理・分析

グーグルサイトの使い方を知り、出部の史跡についてまとめることを知る。



「ふるさとと出部」「出部の史跡」をもとに、およその年代に並べ、出部の成り立ちについて整理する。

史跡巡りで分かったことを、エリアごとにサイトにまとめる。

まとめ・表現

中間発表を行い、グループでの進捗状況を確認する。



サイトにまとめ、完成させる。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- まちおこし協議会が「ふるさと探訪」という冊子を発行していることを知り、自分たちも子ども版の「ふるさと探訪」を発行したいという思いを持つことができた。
- △コロナ禍のため、学校に地域の方に詳しい方をお招きすることがあまりできず。児童の疑問をすっきり解消することができなかった。
- ☆より多くの人に出部の「史跡」を知ってもらえるよう、子ども目線の「出部の史跡サイト」を作成できるとよい。